

# 中南米情勢と資源確保

平成19年4月24日

金属資源開発資源本部

岩田 達明

## 1 . 中南米の左傾化

### ( 1 ) 現政権の政策志向

- ・ 穏健左派

チリ、ブラジル、アルゼンチン、ウルグアイ、ペルー

- ・ 急進左派

キューバ、ベネズエラ、ボリビア、エクアドル、ニカラグア

- ・ 但し、首脳自身の政治信条は、必ずしも上記と合致しない。

## ( 2 ) 何故左傾化したか？

- ・ I M F 指導の自由主義経済政策は、貧富の格差を解消せず。
- ・ 平等重視のキューバモデルは、社会的弱者に魅力があり、一定の影響あり。
- ・ 経済全般は穏やかな成長を続けているので、一般世論は急進化していない。

## ( 3 ) 教会の影響力大

## 2 . 国別概観

### ( 1 ) キューバ

- ・ ソ連の支援を得て、平等社会の実現に邁進。その後、ソ連の崩壊と共に、経済的に破綻。

- ・ ベネズエラ・中国の支援を得て、経済復興。

- ・ 資源国

  - 石油：スペイン、中国、ノルウェー、インド等が探査

  - ニッケル：加、中国

- ・ 米国の経済制裁、ヘルムズ・バートン法

〔カストロ以後の政策〕

## ( 2 ) ベネズエラ

- ・ 貧富の差。ラ米における米への最大石油輸出国。
- ・ キューバに近い政策。 3 期目。
- ・ 2 1 世紀の社会主義を目ざしている。
- ・ T V 局の免許取消、大統領への法律制定権の付与、大統領多選制の検討

〔今後の展開〕

### ( 3 ) ボリビア

- ・ 古くからの鉱物資源国。ラ米最貧国の1つ。コカ栽培阻止の観点から、米国と密接な協力関係にあった。未開発資源もかなりある模様。
- ・ 反米レトリックで支持を得たモラレス大統領が、昨年就任。
- ・ 就任後、天然ガス国有化。鉱物資源については、増税の動き。
- ・ 資源価格低迷時に、投資側に有利な開発計画が策定されたとの思いがあり、価格高騰時の現在、「予期せぬ利潤」を分けて欲しいとの思いが官民にある。

#### 〔我が国との関係〕

- ・ ラ米での我が国援助の重点国。社会開発を中心に多大の援助。政府・国民の間で我が国は高い評価を得ている。

#### ( 4 ) エクアドル

- ・ 石油等一次産品が豊富。ラ米で米軍基地がある唯一の国で、従来親米国。
- ・ 反米レトリックで選挙されたコレア大統領が、今年就任。
- ・ 就任後、債務返済問題、議会对策に忙殺されて、政策が見えてこない。

#### 〔今後の展望〕

- ・ これから徐々に政策・体制が具体化する。

## ( 5 ) ニカラグア

- ・ オルテガ議長が 1 0 数年振りに政権復帰。



## ( 6 ) ペルー

- ・ 豊富な資源国
- ・ 左派の候補と接戦の末、ガルシア大統領が勝利。
- ・ 同大統領は、穏健な政策を推進しており、任期中に安定成長の路線に乗せたいと考えている。
- ・ 自由な鉱業政策をとっており、外国企業も進出しやすい。しかし、周辺の住民対策が大きくなりつつある。

### 〔我が国との関係〕

- ・ 周辺の住民対策は鉱山会社が行うとしても、具体的には、医療・教育・職業訓練等であるので、我が国の技術協力のノウハウを活用する余地があり。
- ・ 古くからの資源国であり、環境対策が立ち遅れているので、資源確保と我が国の環境対策技術供与とをセットで検討する余地あり。
- ・ 前政権時代は、フジモリ問題があったが、新しいスタートをきるべく、今秋大統領訪日が予定されている。

## ( 7 ) チリ

- ・ 安定した政治経済情勢

### 〔我が国との関係〕

- ・ 銅の最大供給国であり、2 国間関係の深化・拡大を検討する余地。
- ・ 今秋大統領訪日が予定されている。

### 3 . 我が国との関係概観

- ( 1 ) 歴史的、援助、日系人を通してよい関係。
- ( 2 ) 資源の供給先として開拓の余地が大きい。
- ( 3 ) 官民協力が有効な国もあり。

## 1 . 主要指標

国	1人当たりGNI	人口	人間開発指数
チリ	4,360	15.8	0.854
伯	2,720	176.6	0.792
亜	3,810	36.8	0.863
ウルグアイ	3,820	3.4	0.803
秘	2,140	27.1	0.762
キューバ		11.3	0.817
ベネズエラ	3,490	25.7	0.772
ボリビア	900	8.8	0.687
エクアドル	1,830	13.0	0.759
ニカラグア	740	5.5	0.690

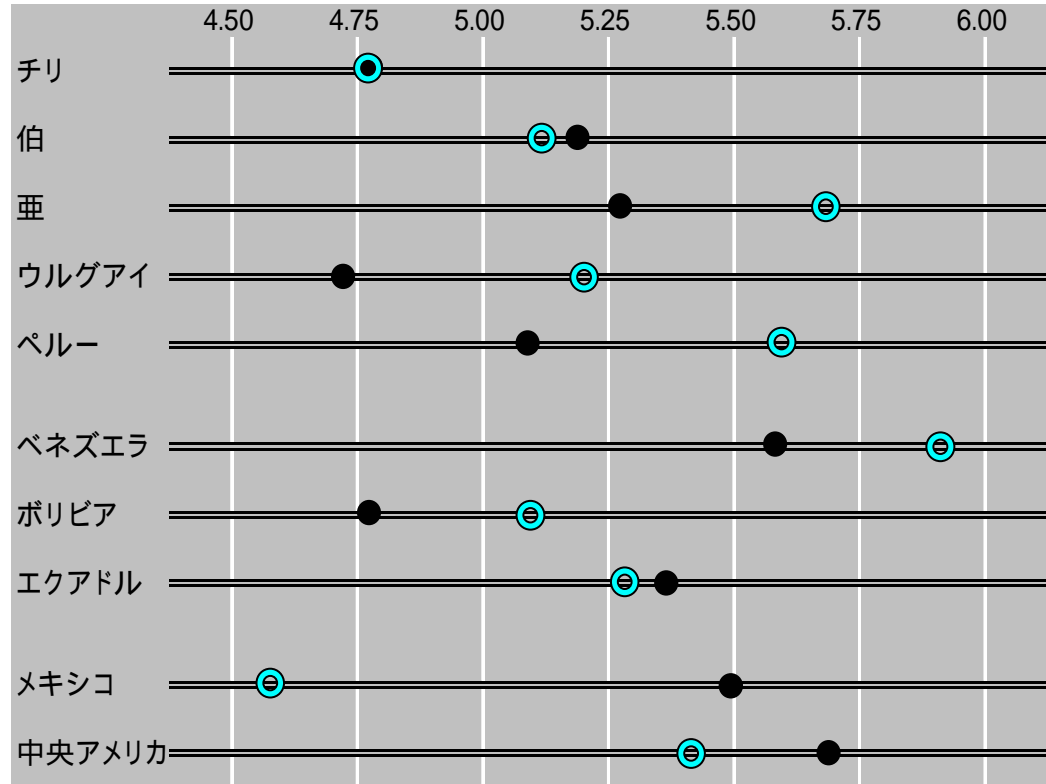
## 2. 民主主義に対する支持 (%)

国	1996	2001	2005	2006
チリ	54	45	59	56
伯	50	30	37	46
亜	71	58	66	74
ウルグアイ	80	79	77	77
秘	63	62	40	55
キューバ				
ベネズエラ	62	57	78	70
ボリビア	64	54	49	62
エクアドル	52	40	43	54
ニカラグア	59	43	57	56

### 3. 左派・右派に対する世論の動向

( 0 を左派、10 を右派として、  
回答者自身がどこに位置づけて  
いるかを集計したもの )

○1996年、 ●2006年



( 出典 : エコノミスト誌12月第 2 週号 )